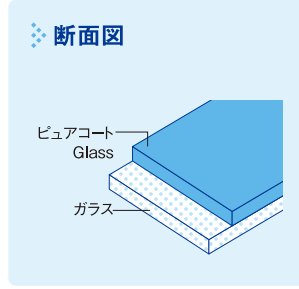


ピュアコートGlass

ピュアコートGlassは、ガラス表面に透明かつ強固な光触媒塗膜を形成するコーティング材です。光触媒コーティング膜は、光（紫外線）が当たることで、有機物分解効果と高い親水性が発現することにより防汚・防滴・防曇効果を発揮します。

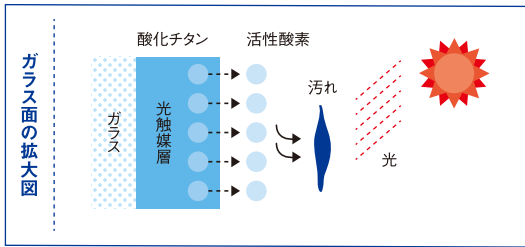


ピュアコートGlassの特長

MERIT 01 透明性・密着性が 高い	MERIT 02 下塗不要の 1層コート	MERIT 03 汚れが付着しにくい (有機物分解・親水性)	MERIT 04 表面硬度 4H
---	---	---	---------------------------------------

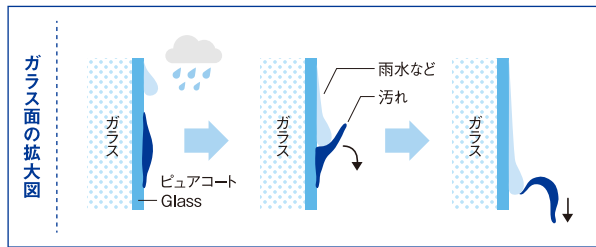
POINT 01 光触媒作用で汚れを分解!

光触媒に光が当たると活性酸素が発生します。この活性酸素が表面に付着した親油性の汚れを分解し、付着力を弱めます。雨が降ると、この汚れが洗い流されやすくなります。



POINT 02 光触媒作用の親水性で汚れを防止!

水が玉のようにならず、表面になじむ状態を親水性と言います。親水性の表面では、水は膜のように広がるため、雨水などがガラス表面の汚れの下に入り込み、浮き上がらせて流します。



施工実績

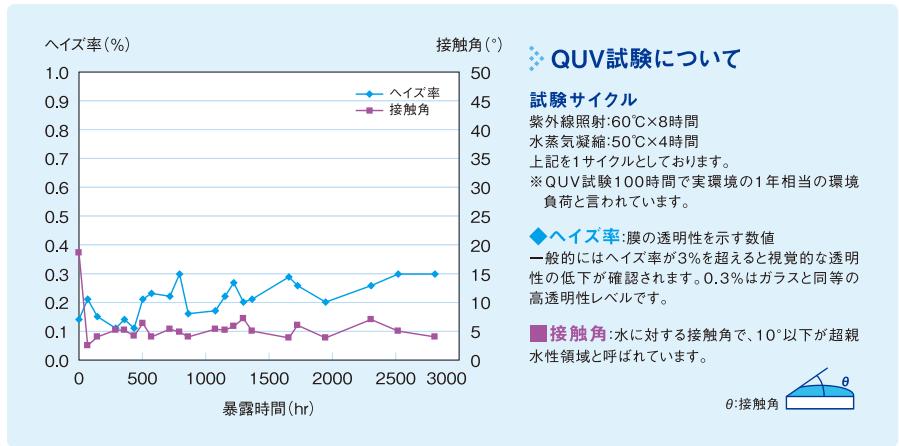
ピュアコートは誕生から20年。個人邸や集合住宅、オフィスビル、学校をはじめとした公共施設など、多彩な施工で活躍してきました。



警視庁本部庁舎(26)
外壁改修工事(東京都)
施工:2017年

QUV試験による塗膜特性評価

ピュアコートGlassは、ガラス表面に1コートで高い透明性かつ塗膜強度が4H(完全硬化後)の強固な光触媒塗膜を形成し、とても高い耐久性を有しています。また、環境促進曝露試験(QUV使用)の結果では、20年以上の塗膜の親水性を保つデータが得られています。



光触媒性能表示

商品名	ピュアコートGlass1		
光触媒等の種類	酸化チタン		
光触媒等加工部位	認証基材：ガラス		
光触媒等の効果	セルフクリーニング効果：UV	測定方法は JIS R1703-1 及び JIS R1703-2 に準拠しました。	
		限界接触角※1	5°以下(汚れを洗い流す性能の目安です。)
	分解活性指数※1	12.9nmol/L/min(汚れを分解する性能の目安です。)	
	抗菌効果：UV	測定方法は JIS R1702 に準拠しました。	
		抗菌効果※2	大腸菌
		黄色ブドウ球菌	抗菌活性値 3.5 光照射による効果 3.7
	試験条件	紫外線強度0.25mW/cm ² (この条件は昼間の窓際に相当します。)	
使用できる場所	セルフクリーニング	屋外	太陽光が入らない場所では十分な抗菌効果が期待できません。
	抗菌	昼間に太陽光が入る窓際	
安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。		
使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果、抗菌効果が得られませんので、定期的な洗浄を推奨します。		

※1:光触媒工業会の認証基準は限界接触角が30°以下であり、小さいほど性能が高い事を表します。分解活性指数の認証基準は5以上であり、大きいほど性能が高い事を表します。

※2:光触媒工業会の認証基準は抗菌活性値が「2.0」以上、光照射による効果が「0.3」以上です。抗菌活性値が「2.0」とは、抗菌効果により菌数が1/100に、「3.0」とは菌数が1/1000になることを表します。また、光照射による効果が「0.3」とは光を当てない条件の菌数に対し、光照射により菌数が約半分になることを表します。

施工について

適正施工	吹付	吐出量	30～50g/m ²
塗装回数	1～2回	塗装可能面積	3kg缶：60～100m ² 、14kg缶：280～466m ²
基材	ガラス面		
設計価格	●6,500円/㎡(材工) ●施工面積300㎡以上の場合の参考設計価格です。 ●足場架設費用・消費税は含まれておりません。		
施工条件	●雨天時や湿度の高い時は施工できません。低温時(10℃以下)の場合はこちらをご覧ください。 ●指紋等が付着すると十分な効果が得られないため、施工は工事の最終工程にしてください。		

注意事項・メンテナンス方法

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することがあります。ご了承ください。 ※記載の内容は2021年1月現在のものです。

注意事項

- ①本商品は清掃が不要になるコーティングではありません。長期間降雨のない場合や少量の雨水、雨の掛かりにくい部位、特に底のある場合では、セルフクリーニング効果が十分に発揮されません。汚れ度合いによって、年に1～数回程度の清掃が必要ながあります。
- ②砂塵の多い場所や黄砂によって一時的に汚れることがあります。少量の雨が当たると、かえって汚れが目立つことがあります。大量の有機物汚れ(油、鳥の糞他)はセルフクリーニング効果だけでは除去ができませんので、中性洗剤を使って洗浄してください。
- ③ガラスサッシ間のシーリング材にシリコンが使用されている場合は、シーリング材から溶出するシリコンオイル等の付着により防汚性が十分に発揮されません。(シーリング汚染防止剤を塗装することで、シリコンオイルの溶出は軽減されますが、完全に抑えることは出来ません。)シリコン系以外のシーリング材(ポリイソブチレン系、ポリサルファイド系)への変更を推奨します。
- ④ガラス塗装面側に加工が施されている場合(熱線反射加工、フィルム等)には、コーティングが出来ません。また、低勾配ガラス(10°以下)は効果が十分に発揮されません。
- ⑤光触媒コーティング膜は、完全硬化するまでに1ヵ月程度(20℃)かかります。その期間中は右記メンテナンスを行わないでください。(但し、施工後1日経過後であれば散水のみによるメンテナンスは可能です。)

メンテナンス方法

①光触媒コーティング面

通常汚れの場合、散水可能であればガラス面への散水のみで十分です。散水のみでは汚れが落ちない場合やひどい汚れが付着した場合及び散水ができない場合には、下記手順に従い、清掃を行ってください。

- 【手順1】清水(または水で希釈した中性洗剤)を湿した柔らかい布でガラスコーティング面を濡らします。
- 【手順2】スキージーで清掃します。このとき、①微細な固形物や砂塵を除去した後に清掃してください。②スキージーの裏側の金具をガラスに当てないようにご注意ください。③スキージーの先には汚れが集まっていますので、適宜、その汚れを落としてから使用してください。
- 【手順3】ふき取りムラがないか確認してください。コーティング面は、乾燥が速いので、このまま終了しても問題ありませんが、ふき取りムラによる水滴などが残っている場合は、乾燥した柔らかい布で、その部分を軽くふいてください。

②光触媒コーティングしていない面

ピュアコートGlassを施したガラスの特長を生かすために、光触媒コーティングをしていない面の清掃も行って美観を維持していただくことを推奨します。

光触媒機能を有するフッ素樹脂塗料「ピュアコート®」開発・製造・施工・販売

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

[本社] 〒595-0016 大阪府東大阪市南町4-14 Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

[東京営業所] 〒111-0042 東京都台東区寿3-14-11 蔵前チヨダビル7階 Tel:03-5830-0055 / Fax:03-5830-0056

[中部営業所] 〒510-8114 三重県三重郡川越町亀崎新田77-568 Tel:059-363-5151

www.pialex.co.jp

Q ピュアコート



※「ピュアコート®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。